

【職員住宅編】

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	若葉職員住宅12号棟				
-----	------------	--	--	--	--

大分類	その他	中分類	その他	施設番号	202
-----	-----	-----	-----	------	-----

所管部課	職員課
------	-----

1 土地データ

所在地 (地区)	若葉町2丁目2番地 (北広島団地)	敷地面積	10,628 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和53年度
建物構造	RC	延床面積	2,185 m ²	経過年数	40年
階数(地上)	5階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	786,600千円	法定耐用年数	47年	市民1人当たり更新コスト	13,391円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態					
	25人	25人	人	25人	市直営					
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(千円)		内訳		金額(千円)			
	収 入	利用料等		3,195		支 出	①施設維持コスト		修繕料	908
		国費		-			火災保険料		45	
		道費		-			維持管理委託料		1,376	
		その他		-			敷地借上料		-	
		市費(一般財源)		-			工事請負費		-	
	合計		3,195		その他維持費		-	小計	2,329	
					②施設運営コスト		人件費	-		
					光熱水費		866			
					運営委託料		-			
その他運営費					-					
				小計		866	合計(①+②)	3,195		
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり					
単位コスト	127,800円/人		54円/人		1,462円/m ²					

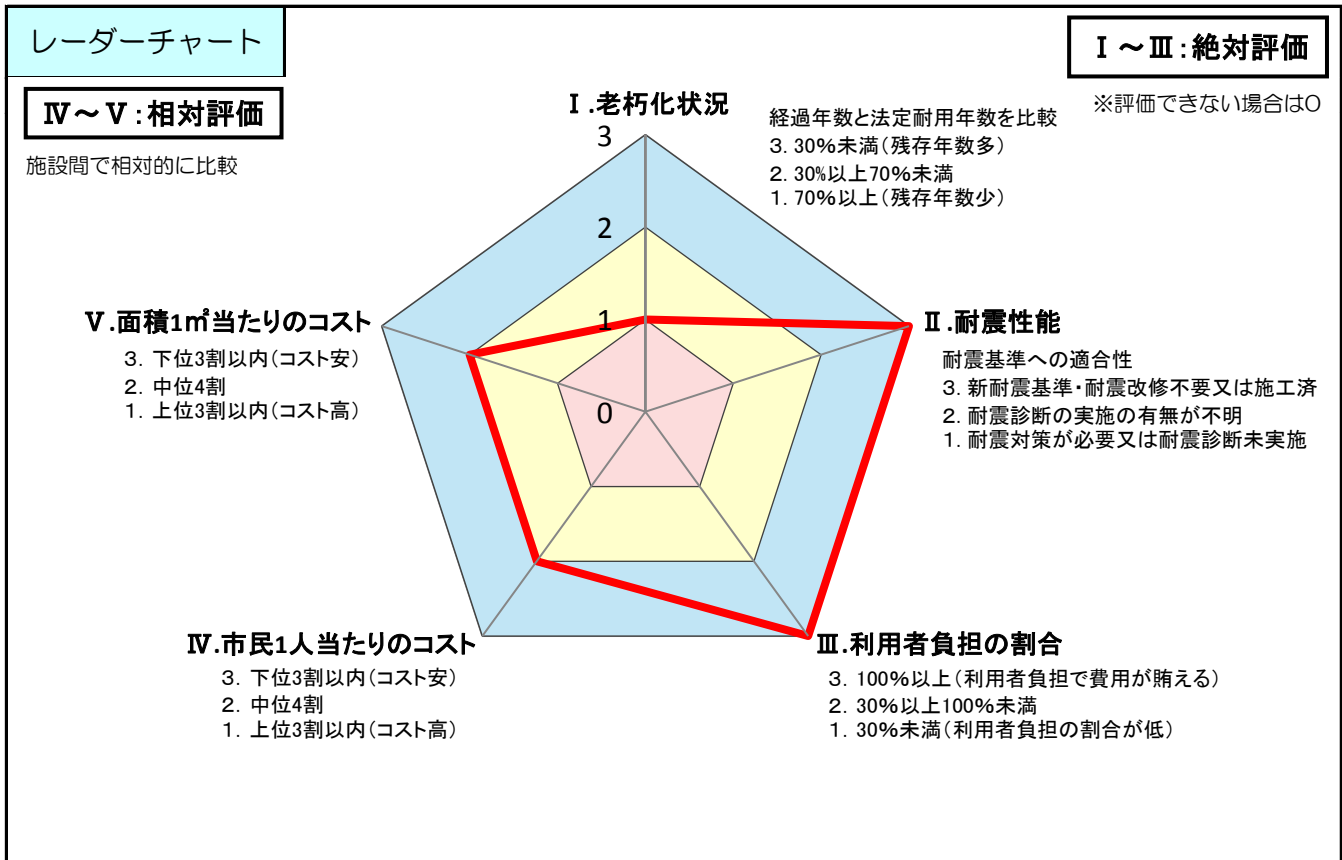
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H11	外壁・給排水等の大規模修繕	113,542			
H27	減圧弁設置	2,041			

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

<p>I. 老朽化状況</p>	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	<p>85 (%)</p>
<p>II. 耐震性能</p>	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	<p>耐震性能あり</p>
<p>III. 利用者負担の割合</p>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	<p>100 (%)</p>
<p>IV. 市民1人当たりのコスト</p>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	<p>54 (円/㎡)</p>
<p>V. 面積1㎡当たりのコスト</p>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	<p>1,462 (円/㎡)</p>
<p>総合評価</p>	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担で費用が賄える(III)。市民一人当たりのコストは標準的(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	